

科目分類	助産学実践科目 実践・関連		開講時期	1年 前期	
授業科目	乳幼児の発育発達とケア				
選択/必修	必修	単位数(時間数)	1単位	15時間	授業形態 講義
担当教員	益田 早苗				
メールアドレス	masuda@tsu.ac.jp	オフィスアワー	事前にメール連絡してください		

授業目的	<p>乳幼児の発育・発達と評価、健康増進と疾病予防、養護技術について理解する。</p> <p>① 乳幼児の発育・発達とその評価方法、健康増進のための養護について理解する。</p> <p>② 低出生体重児、疾病や障害を持つ乳幼児へのケア・支援方法を理解する。</p> <p>③ 出生から就学までに起こりやすい疾患の予防(予防接種)とケアについて理解する。</p>
授業概要	<p>乳幼児の成長・発達とその評価、養護の方法を学び、子どもが健康に生活していくために必要な育児支援について理解する。また、病的状態で出生した子どもの観察とケアを学び、異常の予測と緊急時の対応方法について理解する。</p>
授業内容	<p>第1回 「乳児の発育と発達」 身体的生理的特徴、精神的社会的発達と養護技術及び育児支援</p> <p>第2回 「幼児の発育と発達」 身体的生理的特徴、精神的社会的発達と養護技術及び育児支援</p> <p>第3回 「新生児の異常とその後の発育・発達の特徴」その① 先天異常、胎児ジストレス、仮死状態で出生した新生児の経過とケア</p> <p>第4回 「新生児の異常とその後の発育・発達の特徴」その② 低出生体重児の発育発達の特徴とそのケア</p> <p>第5回 「乳幼児に起こりやすい疾患とその予防」 主な感染症と予防接種</p> <p>第6回 「乳幼児に起こりやすい疾患とそのケア」 心疾患、消化器系疾患、アレルギー疾患、代謝疾患等とそのケア</p> <p>第7回 「乳幼児の発達障害とそのケア」 1歳6か月健診と5歳児健診</p> <p>第8回 「障害のある乳幼児のケア」 障害児の発育発達の特徴、支援制度、福祉との連携</p>
教科書・参考書等	教科書：医学書院 助産学講座8 助産診断・技術学Ⅱ 新生児期・乳幼児期
成績評価基準・方法	筆記試験にて評価をする。(100点満点)
履修要件	なし
留意事項・その他	なし